



豊田鉄工株式会社 様



出荷場エリアのデジタル化で工数削減、 リードタイム短縮、物流問題を改善！

2024年4月からトラックドライバーの時間外労働の960時間上限規制と改正改善基準告示が適用され、労働時間が短くなることで輸送能力が不足し、「モノが運べなくなる」可能性が懸念されており、このことを「物流の2024年問題」と言われています。出荷場エリアをデジタル化し物流を効率化できる対策の事例をご紹介します。

システム概要

『 出荷管理システム 』

豊田鉄工ではスマート工場化に取り組んでおり、物流の工数低減・リードタイム短縮・目で見る管理のレベルアップを図るべく 出荷場エリアのシステム化を推進しました。タブレットや電光掲示板を活用してデジタル化することで、出荷作業を効率化・見える化することが可能になりました。

①作業開始 @リフト置き場

| 作業ID | 数量 | ステータス | 操作 |
|------|-----|----------|---------|
| A1 | 1 | 積込可 (遅延) | 積込開始 |
| A2 | 1,2 | 積込中 (遅延) | 取消 積込完了 |
| A3 | 1 | 積込可 (遅延) | 積込開始 |
| A4 | 1 | 積込可 (遅延) | 積込開始 |

- ・ 出荷準備完了でタブレットの積込可能ボタンが有効化

- ・ リスト乗車時対象の積載作業のボタンを選択し作業開始

②積載作業 @トラックレーン

現在時刻: 15:46

車種: 8

積込時間: 08:20 09:10

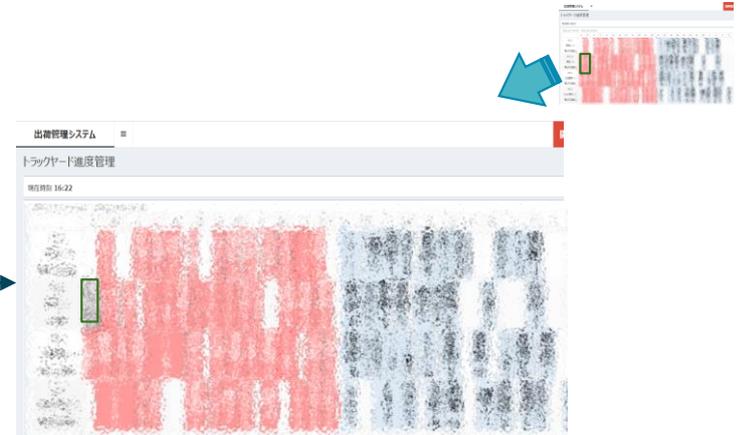
積込完了時間: 04:00 04:50

積込開始時間: 20:35 00:20

- ・ 積載対象の納入品番情報が表示
- ・ 出荷指示書のQRを読み込みするとステータスが赤→青へ変化

※トピックス社の出荷実績との連携も可

③出荷進捗確認 @出荷場中央エリア・管理事務所



- ・ 出荷計画を立案して1日の出荷予定が表示
- ・ 積載が完了したらステータスが灰色に変化
- ・ 計画に対する実績をExcel出力、振り返り